

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号			
法人名	特定非営利活動法人しらゆり		
事業所名	グループホームしらゆり萩		
所在地	大分県竹田市萩町瓜作4575-1		
自己評価作成日	H26年2月18日	評価結果市町村受理日	平成26年6月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号
訪問調査日	平成26年3月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれ恵まれた環境の中で自立した生活への支援をします。自分の思いを大切にアットホームな環境を提供します。地域との連携を密にして地域の人たちと共存できるよう考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・事業所周辺では季節の山菜取りを楽しむことが出来、旬の食材として食卓を飾っている。
 ・積極的な地域交流が行われており、雪下ろしや門松作り、避難訓練の協力が得られている。
 ・日常的に外気浴や屋外でのおやつタイムを楽しむ支援が行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の実践に努めている	3つの項目に分けられた理念は分かり易い表現で表わされ、来訪者の目にとまりやすい玄関に掲載されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の高齢者、シニアクラブ、ボランティアさんを招待して敬老会(今年は名前を変えてしらゆり祭り)約100名を招待する。荻に1か所しかない保育所の園児さんに来て頂く。	利用者の話し相手や事業所の外掃の手伝いに複数のボランティアの訪問を受けている。今年の大雪の日には除雪作業の訪問を受けている。隣接する公民館で開く夏祭りには多くの地域住民の参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	荻町ボランティアクラブの招待でシニアクラブ、子供クラブの皆さんと食事会に参加。デイサービスも始まり、地域に理解頂きつつあるように思われます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	初年度は出席者が少なく苦労しましたが、今ではほとんどの方が出席してくれます。活発に意見をいただいています。又年末には皆さんが揃って門松作りや、職員との交流会もしています。	運営推進会議は地域から自治会や各種ボランティア、市職員等複数の委員の出席を得ている。委員が主体となって年末の門松作り、防災訓練の協力が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課には入退所の報告等行って毎月1度は顔出すようにしております。	事業所代表が毎月市役所に出向いている。運営推進会議に2名の市職員の出席があり、何でも話し合える関係がつけられている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしておりません。玄関の施錠もしてませんがご家族の不安解消のため外にセンサーを付けてます。	「身体的拘束はしない」を基本方針に、利用者支援に努めている。玄関のセンサー音は不快感なく、来訪者の訪問や外出者を知らせている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加し、虐待の実情をインターネットで見て何が虐待になるのかを知るようにしております。		

事業者名:グループホームしらゆり菫

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月1回の会議に成年後見をされている社会福祉士に来ていただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	充分説明をしております。理解を得ていると思います。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	推進会議にご家族も交代で出席していただくようにしております。	家族の面接時を意見や要望を聞く機会にしている。敬老会や夏祭り等の事業所行事の際は全家族に案内し、意見を聞く場になっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週1度はミーティングするようしております。	週1度のミーティングを出勤している職員で行い、毎月開かれる全体会議につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来限り働き甲斐のある職場にしたいと努力しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は勤務とし、研修手当を支給し積極的に取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	竹田地域小規模事業所連絡協議会を立ち上げ積極的に同業者との交流に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを大事にするように心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者さんのために家族との信頼がだいじなことでその努力はしております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人のしたいこと、ありたいこと、出来る事を探しながら一緒に生活するという処遇を心がけています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と一緒に生活できるように心がけております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の連絡、調整をしながら家族と一緒に処遇するおもいで連携をしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の絆を大切に、電話で話をしたり、行事に参加していただいています	馴染みの友人の訪問を受け、共用空間のホールの一角でゆっくり話をしてもらう場づくりや、来訪者から利用者の昔の情報を得てアセスメントにつなげている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	想い、人生観、個人の歴史、好み等が違うので孤立しないように努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の都合で退去になったり入院のため退去になった方がいます、淋しくないように職員で面会や相談等支援を継続していきます		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、本人の言動、行動を把握し、得られた情報を職員で共有している	月に1度利用者と職員の話し合いの場を開き、やりたいことや行きたい場所等の要望を聞いている。日常の会話から個別の思いを聞くように努めているが記録されていない。	馴染みの人や家族、利用者の日常会話から得られた情報を個別のアセスメント表に記載し、介護計画へ活かされることを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族との連携に努め、本人の意向に添うように努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し介護計画を作成し家族に説明し同意を得ています、変更があればモニタリングも行い、現状に即した計画を作成しています	介護計画は、計画作成担当職員が職員からの情報を基に作成しているが、介護度や状況の変化毎の変更が行われていない。	毎月の職員会議等で話し合われた利用者の状況変化や介護度の変化を活かした介護計画作成が求められる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護職員、計画作成担当者と会議を行い情報を共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービスを開設しましたが、サービスの多機能化には取り組めていません		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの会、シニアクラブ、子育ての会とのお楽しみかかれました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診や協力医、専門病院の受診を支援し、医療との関係も築いている変化がある場合は家族へ報告、情報提供をしている、往診もしている	月に1度、協力医の訪問診療を受けている。かかりつけ医の紹介で専門医受診へつなげている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師がいるので適切な受診や主治医、専門医との連携はとれている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員、とは入退院時連携をとっています、特に退院には指導、助言をいただく様にしております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所の意向を説明している。家族の方にも納得して頂いておりますが、今後は看取りをおこなっていく方法で検討しております	重度化や終末期は家族の意向を基に話し合いをしながら決めていく方針としているが、確認書は作られていない。	職員間での話し合いを持ち、統一された事業所方針を整え、確認書作成が求められる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練を定期的に行いたいと思っております。小規模事業者連絡協議会(たけたん絆)で今年は合同訓練の計画をしております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防団、地域住民立ち合いでの避難訓練を実施しており、今度から推進委員さんの御協力も頂けるよう話し合いをしました	避難誘導訓練が年3回行われている。消防団や地域住民の協力も得られている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の関わりの中で気付いたことは助言、指導を行っている、職員同士もお互いに注意しながら、職員一人一人が居心地のよい言葉かけに努めております	利用者のプライドを傷つけないよう見守り支援に努めている。特に排泄支援では半身マヒや自分でしたいという意志の尊重を職員間で共有して支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎月1回とは言えませんが入居者との懇談会を持って、食べたいもの、行きたいところなど聞いてみます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室でテレビ見る片やいつもホールいる方など自分のやりたいよう暮らしていただけたらと思います		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪をとかしてあげたり、服を選んであげたり支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に応じ梅干を漬けたり食器を拭いてもらったりはしますが、食事を作ることは皆さん手を出しません、年に2~3回は外食をします、好きなメニューを選んで頂いております	3食とも食堂で手作りの食事が作られている。事業所の庭で焼肉パーティーをしたり、年数回利用者全員が参加し、職員や他の利用者と共にメニュー選びを楽しみながらの外食支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に浮腫のある方、糖尿のかたの食事量や水分量には気をつけるようにしております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事のたびに口腔ケアを行っています、		

事業者名:グループホームしらゆり菫

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い、誘導、声掛けをしています、開所して3年になり認知症も進みトイレの場所も分からなくなってる方もいて誘導に気をくばっております	全利用者がトイレで排泄をしている。職員に依存傾向の利用者、自分で管理したいという思いの利用者も個々の能力や状況を見ながら助言・手伝いの支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘薬、浣腸する方もいます、朝必ずヨーグルトを食べます、又体操をするようにしております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々に添った対応をしております、週2回は必ず入浴していただいています。	週に2回の入浴日となっている。持病や身体状況に合わせてシャワー浴での保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心してよく眠られるように配慮しております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の介助と変化の把握に努めております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせる様に楽しみや気分転換に心掛けております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には庭にでたり、散歩したり、ベンチでお茶、食事をします、家族の方にもたまには外出支援していただく様しております	紅葉やチューリップ祭り等の集団外出を行っている。移動パン屋さんに立ち寄ってもらい買い物を楽しんだり、日常的に事業所敷地内の外気浴を楽しむことが出来ている。	

事業者名:グループホームしらゆり菫

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来ない方、又盗られたと毎日言われる方がいるので基本お金は所持しないように家族の方をお願いしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を出したり、電話したり、要望があれば出来るようにしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾り等、ロケーションがすばらしいので雪山をみたりできます。廊下、脱衣所、等には床暖房があり快適に過ごせる様にしております	共用空間の一角では室外の景色を楽しみながら来訪者と共にゆっくりと話をするベンチが置かれ、気候の良い時期は事業所周圍のロケーションを楽しみながらベランダでおやつを食べる等している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室、デイルーム、ホール等いつでも自由に過ごして頂けるようにしております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを置いていただき、写真などを置き安心して暮らせるように配慮するように努めております	利用者の各居室に貼られたカレンダーには来訪者の面会や散髪等の日常の記録や毎日の注射位置を知らせる等の工夫が行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下には手すりがあり、居室にはコールで呼べるようにしてます、自分自身のペースで生活出来るように配慮しております		